

都立高校生の「ジョブシャドウ」体験 ～金融の最前線で働く人を見る～

三菱UFJフィナンシャル・グループの社会貢献活動と経済教育団体ジュニア・アチーブメントと連携した高校生のためのキャリア教育支援プログラム

◆「仕事を見るのではなく仕事をしている人を見る」

東京都教育委員会では公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本と共催し、三菱UFJフィナンシャル・グループ6社の御協力をいただき平成19年度から都立高校生を対象に「ジョブシャドウ」を実施しています。

「ジョブシャドウ」とはジュニア・アチーブメントの独自プログラムで、一人の企業社員に対して、一人の高校生が、数時間のあいだ「影(シャドウ)」のごとくついてまわり、社員が仕事に打ち込む姿勢にふれて、今後の進路選択を考えたり学習の動機づけの機会としたりする体験です。

今年は、7月27日(火)に都立高校33校から102人の高校生が参加し、丸の内や秋葉原にある三菱UFJフィナンシャル・グループ各社の本社ビルで行われました。

このジョブシャドウが、職場見学や職業体験と少し違う点は、「仕事を見るのではなく仕事をしている人を見る」という点です。社内ミーティングに同席する生徒、株の取引現場を目の当たりにする生徒、他社との商談に同席する生徒など、力を振り絞って仕事をする社員の方を見続けます。



三菱東京UFJ銀行本社で社内の会議に同席する高校生

主なプログラム

- 事前研修 7月17日(土)に実施
MESE(経済教育プログラム)の実施、会社説明と「身だしなみ」等注意事項
- ジョブシャドウ 7月27日(火)午前
- 事後学習 7月27日(火)午後
グループディスカッション、修了式、感想文の作成提出



ジョブシャドウ後の修了式

御協力いただいている
三菱UFJフィナンシャル・グループの6社
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱東京UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
三菱UFJニコス株式会社
三菱UFJリース株式会社

◆「仕事のスピードの速さにビックリしました」

当日参加した高校生の感想文を一部紹介します。

- + 難しい会議を何度も開いて意見を出し合っていることが素敵でした。現場やお客様のことを考えながらどうしたら良いのかを考えると大変な責任だと思いました。
- + 電話しながらパソコンも同時に使って、その直後に「この株売りました。」とおっしゃっていました。スピードの速さに本当にビックリしてしまいました。
- + 商談が始まると、ずーっと英語での会話でした。資料も英語、ジョークで笑うのも英語、この時ほど英語が出来ないことが苦になったことはありません。

3時間という短い間に、「働くことの社会的責任の重み」「チームワークやコミュニケーションの大切さ」「学校で身につけるべき学力の大切さ」を肌身で実感していることが分かります。

こうした効果は、持てる能力をフルに使いながら金融の最前線で働く社員の方の姿に間近に接するからこそ、得られるものであり、学校や行政だけでは実現できないものです。

次世代社会の担い手育成をめざした社会貢献活動として取り組んでいます

會津美和子さん(三菱UFJフィナンシャル・グループ CSR推進部 企画グループ)

三菱UFJフィナンシャル・グループでは、「地球環境問題への対応」や「次世代社会の担い手育成」を重点領域として社会貢献活動を行っています。ジョブシャドウは、「次世代社会の担い手育成」を目的としてMUFGグループ各社が協働して実施しています。実施後の社員アンケートの結果では、社員から、ジョブシャドウの受入の準備や当日高校生に接することによって自分の仕事を改めて振り返る機会になった、自分の仕事の位置づけを俯瞰的に捉える機会にもなった等の感想が多数寄せられました。これは、高校生の熱心な眼差しと前向きな姿勢によって、社員もいい意味での刺激を受けたのだと思っています。その意味でも、ジョブシャドウは、学生はもちろん、社員にとっても得るものが多い貴重なプログラムの一つだと思います。今後もジョブシャドウを通して、次世代社会の担い手育成のお手伝いをさせていただきます。

※三菱UFJフィナンシャル・グループの社会貢献活動は次のホームページで御覧になれます。

<http://www.mufig.jp/csr/>

公益社団法人

ジュニア・アチーブメント日本

1919年米国で発足した非営利の経済教育団体で、現在、87か国に活動拠点があります。日本本部の設立は1995年。企業による財政的援助によって支えられ、経済教育に関する教材やプログラムの学校への無償配布や経営者を含めた社員の学校派遣などの人的支援を行っています。詳しくはホームページを御覧ください。

<http://www.ja-japan.org/>